I-O DATA

2 セットアップガイド
SATA-PCIシリーズ

148302-01

注意 本製品のセットアップ作業を説明しています。手順にしたがって作業を行ってください。
取り付ける前に本製品のシリアル番号をメモしてください。(例紙[①はじめにお読みください]の[箱の中には]参照)

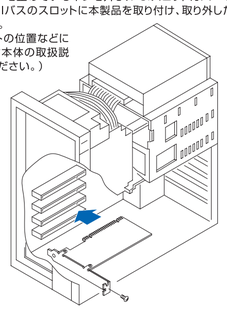
1 取り付ける

本製品をパソコンに取り付けます。

❶ パソコンの周辺機器および本体の電源を切り、パソコンの電源ケーブルをコンセントから抜きます。

❷ パソコンのカバーを外します。
取り外し方法はパソコン本体の取扱説明書をご覧ください。

❸ パソコンのカバーを外します。
PCIスロットカバーを止めているネジを外し、PCIスロットカバーを取り外します。PCIバスのスロットに本製品を取り付け、取り外したネジで固定します。
(PCIバススロットの位置などについてはパソコン本体の取扱説明書を参照してください。)



注意
- ●あとでハードディスクを接続するため、ここでパソコンのカバーを戻す必要はありません。ハードディスクを接続したあとにお戻しください。
- ●ハードディスクへのOSの再セットアップなどに関する「お問い合わせ」「保証」「サポート」は、弊社およびパソコン本体メーカーではお受け致しかねます。ご了承ください。

以上で取り付けは終了です。

2 インストールする

本製品を使えるようにするには、
サポートソフトのインストールが必要です。

Windows XPでのインストール

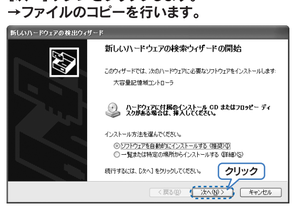
注意 コンピュータの管理者権限のユーザーでログオンしてください。

❶ 本製品を取り付けた後、パソコンの電源を入れ、Windows XPを起動します。

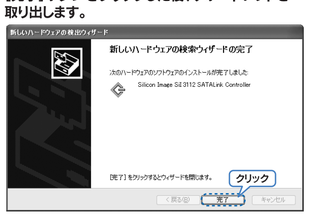
❷ 以下の画面が表示されます。サポートソフトをCD-ROMドライブにセットし、



[次へ]ボタンをクリックします。
→ファイルのコピーを行います。



❸ 以下の画面が表示されます。[完了]ボタンをクリックした後、サポートソフトを取り出します。



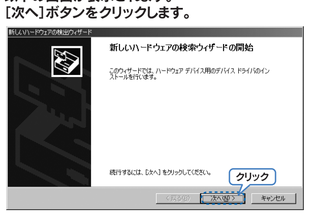
以上でドライバのインストールは終了です。

Windows 2000でのインストール

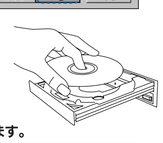
注意 Administrator権限のユーザーでログオンしてください。

❶ 本製品を取り付けた後、パソコンの電源を入れ、Windows 2000を起動します。

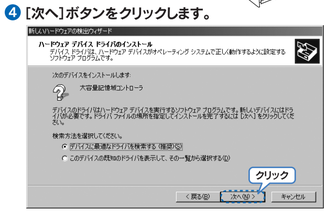
❷ 以下の画面が表示されます。[次へ]ボタンをクリックします。



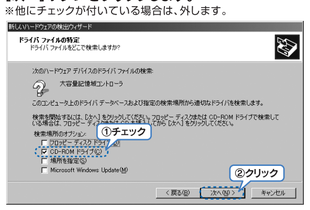
❸ サポートソフトをCD-ROMドライブにセットします。



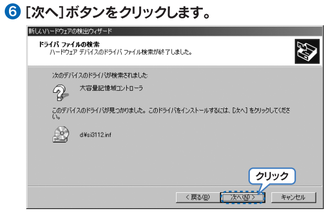
❹ [次へ]ボタンをクリックします。



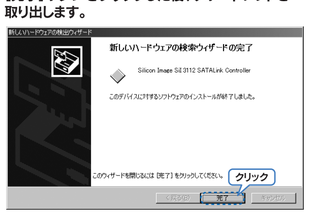
❺ [CD-ROMドライブ]のみをチェックして、[次へ]ボタンをクリックします。
※他にチェックが付いている場合は、外します。



❻ [次へ]ボタンをクリックします。



❼ [完了]ボタンをクリックした後、サポートソフトを取り出します。

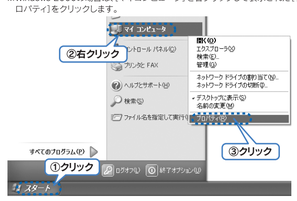


以上でドライバのインストールは終了です。

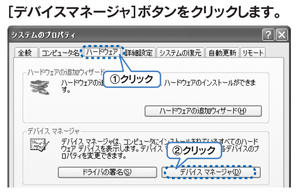
3 確認する

ここでは、サポートソフトをインストール後、本製品が正しくWindows上で認識されているかを[デバイスマネージャ]画面上で確認します。

❶ [スタート]をクリックし、[マイコンピュータ]を右クリックして、表示された[プロパティ]をクリックします。
※Windows 2000の場合は、[マイコンピュータ]を右クリックして表示された[プロパティ]をクリックします。



❷ [ハードウェア]タブをクリックして[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。



❸ [SCSIとRAIDコントローラ]をダブルクリックして以下が表示されていることを確認します。
[Silicon Image Sil 3112 SATALink Controller]



上記が表示されていれば本製品は使用できます。

次に本製品にハードディスクを接続します。
Windowsを終了しパソコンの電源を切ってください。

4 ハードディスクを接続する

ここでは、本製品とハードディスクの接続について説明します。

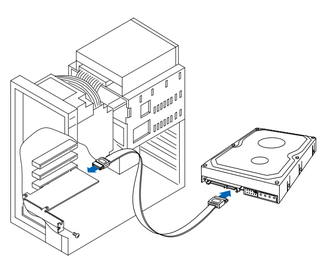
注意
- ●本書では、ハードディスクの設定、フォーマット方法その他に関しては説明しておりません。
詳細はハードディスクの取扱説明書を参照してください。

ハードディスクを接続する

本製品には、ハードディスクを接続するためのコネクタが2つあります。プライマリSerial ATAコネクタから接続してください。
本製品に添付のケーブルでハードディスクを接続します。

❶ Windowsを終了し、パソコンの電源を切ります。

❷ 添付のケーブルで、本製品とハードディスクを接続し、ハードディスクにパソコン内部の電源ケーブルを接続します。



❸ ハードディスクをパソコンに固定します。
ハードディスク添付のネジをお使いください。

❹ 取り外していたパソコンのカバーやケーブルを元に戻します。

❺ ハードディスクがフォーマットされていない場合は、フォーマットを行ってください。
詳細はハードディスクの取扱説明書を参照してください。

以上ですべての作業は終了です。
本製品およびハードディスクをお使いください。

裏へ続く

困ったときには

本製品を使用していてトラブルがあった場合にご覧ください。

弊社ホームページをご確認ください。

サポートWebページ内には、過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。
こちらも参考になさってください。

製品Q&A、Newsなど
http://www.iodata.jp/support/

添付のサポートソフトをバージョンアップすることで解決できる場合があります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のサポートソフトをダウンロードしてお試しください。

最新サポートソフト
http://www.iodata.jp/lib/

●本製品取り付け後、パソコンが起動しない
●本製品が動作しない
●[デバイスマネージャ]で"!"マークがついている

対処 本製品が正しく取り付けられているかご確認ください。パソコンの電源を切り、再度本製品に接続したハードディスクのSerial ATAケーブルや電源ケーブルが取り付けられているか、外れていないかを確認してください。

対処 本製品に割り当て可能なIRQなどのリソースが不足していないかご確認ください。(右の[参考]参照)

対処 プラグ&プレイに対応していないボードがある場合には、そのボードのリソース割り当てを変更してください。(リソースの変更方法に関しては、パソコン本体の取扱説明書を参照してください。)リソース割り当ての変更ができない場合には、そのボードを取り外し、本製品と必要に応じて使い分けてください。

対処 他の周辺機器を拡張スロットに増設した場合は、増設した周辺機器と割り込みやI/Oポートアドレスなどが重複している可能性があります。増設した周辺機器の取扱説明書を参照して、設定を確認してください。

●本製品を使用中に動作が不安定になる

対処 本製品を接続しているPCIバススロットの位置を変えてみてください。

●ドライバのインストールに失敗し、再インストールしようとしたが、「新しいハードウェア」等の画面が表示されない

対処 [デバイスマネージャ]の「SCSIとRAIDコントローラ」下で「SCSIコントローラ」と表示されている場合はこれを削除して再起動します。

参考:割り込みの空きを作る

本製品が正常に動作しない場合は、割り込みIRQの空き(以下の【割り込み(IRQ)の空きについて】参照)が無いことが原因の1つとして考えられます。

注意 **●割り込み(IRQ)の空きについて**
本製品はパソコン本体の割り込み(IRQ)を使用します。ただし、本製品はプラグアンドプレイ対応ボードで、パソコン本体側ですべて自動的にリソース(IRQ等)が割り振られるため、本製品側でIRQの指定ができません。よってIRQの空きの確認(パソコン本体側のリソース(IRQ等)の割り振りが正常か)など確認が必要となります。

割り込み(IRQ)の空きの確認方法

※画面はWindows XPのものですが、特に指示のない限りWindows 2000でも手順は同じです。

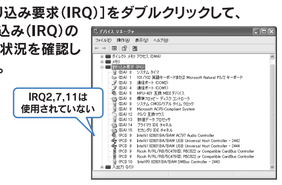
❶ Windowsを終了し、パソコンの電源を切ります。

❷ 本製品をPCIバススロットから取り外します。

❸ [デバイスマネージャ]画面を開きます。
([デバイスマネージャ]画面の開き方については、表面【3確認する】参照)

❹ [表示]メニューから[リソース(種類別)]をクリックします。

❺ [割り込み要求(IRQ)]をダブルクリックして、割り込み(IRQ)の使用状況を確認します。



❻ 空きがない場合は、他の機能を外すなどをして空きを作ってください。
詳細はパソコンメーカーにご確認ください。

❼ 再起動して本製品、IDE機器を接続している場合はIDE機器が正常に動作するかご確認ください。

パソコン本体(マザーボード)のBIOSセットアップメニューで設定できる場合もあります。詳細は各パソコンメーカーにご確認ください。
また、実装しているボードの取扱説明書も参照してください。

接続したハードディスクにOSをインストールする

本製品に接続したハードディスクにOSのインストールおよび本製品ドライバのインストールを行う方法を説明します。

注意
- ●以下の方法で作業する場合は、OSの再インストールが必要になりますが、ご使用の本体によりOSの再インストール方法が異なります。ハードディスクへのOSの再インストールなどに関する「お問い合わせ」「保証」「サポート」は、弊社およびパソコン本体メーカーでは致しかねます。ご了承ください。
- ●増設用のハードディスクを起動用としてご使用になる場合は、環境の移行が完全に終了するまで、必ず元の環境を残してください。
- ●増設ハードディスクに新たにOSをインストールした場合、異なるOSでフォーマットされているハードディスクなどへのアクセスができなくなる場合があります。
- ●OSをインストールする場合はパソコン本体のIDEにCD-ROMドライブ(OSのCD-ROM読み取り用)が接続されている必要があります。
- ●SCSIボードと併用する場合は、OSのインストールおよび本製品のセットアップが完了するまで、SCSIボードを取り外しておいてください。

■インストール時に必要なもの
- ●サポートソフトCD-ROMの内容をすべてコピーしたフロッピーディスク1枚(3.5インチFDD:1.44Mバイトフォーマット)
※以下の作業を行う前にサポートソフトCD-ROMの内容をすべてフロッピーディスクにコピーしておいてください。
- ●WindowsシステムCD-ROM
※画面はWindows XPのものですが、Windows 2000でも手順は同じです。

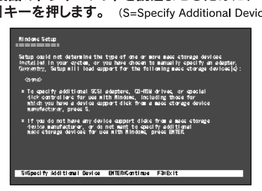
OSと本製品のドライバのインストール

❶ Windows XP/2000のインストールを開始します。

❷ 以下の画面が表示されましたら、[F6]キーを押します。
下記の画面は数秒間だけ表示されますので、この画面が表示されている間に[F6]キーを押します。[F6]キーを押しても、特に画面上の変化はありません。しばらくすると、手順3の画面になります。



❸ しばらくするとすると、下記の画面が表示されます。本製品のドライバソフトを読込ませるために、[S]キーを押します。 (S=Specify Additional Device)



❹ 下記の画面が表示されますので、フロッピーディスクドライブにサポートソフトをコピーしたフロッピーディスクをセットして[Enter]キーを押します。



❺ 以下の画面が表示されます。以下を選択して[Enter]キーを押します。

●Windows XPの場合
Silicon Image Sil 3x12 SATALink Controller for Windows XP/2000 Server 2003

●Windows 2000の場合
Silicon Image Sil 3x12 SATALink Controller for Windows NT 4.0 and 2000



❻ 選択されたドライバの名称が表示されますので、間違いがないことを確認し、[Enter]キーを押します。

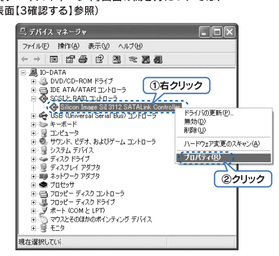


後は画面の指示に従って進めてください。

ハードディスクの接続確認

本製品のプロパティ画面で接続したハードディスクの情報を確認することができます。

❶ [デバイスマネージャ]画面を開き、本製品を右クリックし、表示された[プロパティ]をクリックします。
(「デバイスマネージャ」画面の開き方については、表面【3確認する】参照)



❷ [Device Location]でハードディスクを接続したChannelを選択すれば、接続したハードディスクの情報を確認できます。
●プライマリSerial ATAネクタ=Channel0
●セカンダリSerial ATAコネクタ=Channel1



サポートソフトの削除

「サポートソフト」の削除方法について説明します。
※この手順は、Windows XP/2000共通です。
(画面はWindows XPのものです。)

❶ 「サポートソフト」CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します。

❷ [マイコンピュータ]を開き、[CD-ROMドライブ]([SATAPCI_xxx]アイコン)→[UNINST](または[UNINST.EXE])を順にダブルクリックします。



❸ 後は順に[OK]ボタンをクリックします。

以上で、「サポートソフト」は削除されました。